

第3次 新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金を活用した事業(案)

1次・2次執行残	85,729
3次交付予想額	30,000
計	115,729

新型コロナウイルスの感染拡大を防止するとともに、感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活を支援し、地方創生を図るため、地域の実情に応じて必要な事業を実施する。

地域経済を支援する取り組み

	事業名	予算額	事業の目的と概要	予算内訳
1	Go to Ski キャンペーン (スキーリゾート誘客・集客事業)	55,660	【事業の目的】 スノーリゾート地として冬季は本町観光のトップシーズンであるが、本年は国の入国制限などで外国人観光客の入り込みは見込めず、国内、道内、町内からの誘客・集客によって、本町の経済を牽引する観光産業を成り立たせるための事業を実施する。 【事業の概要】 冬季観光を支援するため、5つの事業をまとめた「Go to Ski キャンペーン」を展開する。 ①スノーリゾート誘客事業 2,530千円 Go to キャンペーン、どうみん割を利用した誘客を促進するため、Web広告を実施する。また、アンケートに答えた観光客に抽選(1月・2月)で町特産品をプレゼントする。 ○広告料: 1,100,000円 ○特産品プレゼント(米、じゃがいも、酒等から選択): 3,300円×100人×2月分=660,000円 ○アンケート: 440,000円 ○特産品送料: 1,650円×200個=330,000円 ②スノーリゾート集客事業 13,200千円 「スキーの町・くっちゃん」として、町内の小中学生にシーズン券を交付し、リフト券をきっかけに友達同士や親子など、ひとりでも多くの町民にスキー場に足を運んでもらうことで、集客を図り、地域経済の支援を行う。 ○シーズンリフト券: 11,000円×1,200人分=13,200,000円 ③スノーリゾートバス運行事業 町内の小中学生がスキー場へ行きやすくするため、また、観光客の域内移動の利便性を図るため、スキーバスを運行する。バス車両は、毎朝スクールバス増便のため町外営業所から配車される車両を活用する。 ○運行費: 66,000円×71日(12/30～3/10)=4,686,000円 ④スキー場新型コロナウイルス感染症予防対策強化支援金 5,200千円 スキー場でのクラスター発生など、深刻な経済活動停止を引き起こさないために、スキー場(索道事業者)に予防対策強化支援金を交付し、感染予防を徹底する。ニセコ、ルスツ、キロロと協調して実施する。 交付金: (ひらふ) 3,000,000円(800,000円+2,200,000円(8-)) (花園) 2,200,000円(800,000円+1,400,000円(1-3)) ⑤宿泊施設新型コロナウイルス感染対策支援金(商工会議所要望案件) 30,000千円 町内の宿泊施設に対して、感染予防費や誘客PR費としてベッド数(定員)に応じて感染対策支援金を交付する。 ○支援金: 2,000円×500施設分定員数(15,000人)=30,000,000円	①スキーリゾート誘客事業 委託料: (広告) 1,100,000円×1式=1,100,000円 (アンケート) 440,000円×1式=440,000円 報償費: 3,300円×100人分×2月分=660,000円 発送料: 1,650円×200個=330,000円 ②スキーリゾート集客事業 交付金: 11,000円×1,200人分=13,200,000円 ③スキーバス運行 委託料: 66,000円×71日=4,686,000円 ④スキー場新型コロナウイルス感染症予防対策強化支援金 支援金: 3,000,000円(東急) 2,200,000円(花園) ⑤宿泊施設新型コロナウイルス感染対策支援金 支援金: 2,000円×15,000人=30,000,000円 郵送料: 200事業者×183円(往復)=36,600円 振込手数料: 200事業者×35円=7,000円

地域経済の支援と感染予防を合わせて行う取り組み

	事業名	予算額	事業の目的と概要	予算内訳	訳
1	夜のお店応援プレミアム商品券発行事業 (商工会議所要望案件)	10,813	【事業の目的】 第2次事業で実施した「地元のお店応援クーポン」によって、地元の飲食店は活気を取り戻しつつあるものの、その活気は、食事の提供をする店舗が主で、お酒の提供が中心の店舗の客足は依然として戻っていない。そのため、「夜のお店」の感染予防を徹底させつつ、お酒の提供が中心の店舗を対象としたプレミアム商品券を発行して地域経済の支援に取り組む。 【事業の概要】 客足が依然として戻っていないバー、スナック、パブ等を対象にした、5,000円のプレミアムがついた商品券を販売する。10,000円分の商品券を5,000円で販売。1人2セットまでとする。販売、集計等は商工会議所が行い、対象店舗の感染防止対策の啓発・巡回点検等は、商工会議所、中心市街地活性化プロジェクトと連携して実施する。12月21日頃からの販売を目指し、使用期間を3月中旬までとする。 ○販売数 10,000円×2,000セット（使用期間：3/20まで）	補助金：（参加店舗売上分） （プレミアム分） 5,000円×2,000セット＝10,000,000円 ※収入として受ける商品券販売代金分（5,000円×2,000セット＝10,000,000円）とあわせて交付する 補助金：（事務費相当分） 商品券印刷・ブッキング分：650,000円×1式 ポスター印刷分：135,304円×1式＝135,304円 折込手数料分：4.4円×3,340枚＝14,696円 振込手数料：35円×60件×6回＝12,600円	10,000 800 13
2	マスクケース配布事業	4,222	【事業の目的】 冬季観光シーズンでの観光客の入り込みや夜のお店応援プレミアム商品券事業を実施するうえで、集客が見込まれる飲食店での感染リスクを軽減するため、町内の飲食店等に使い捨てマスクケースを配布し、マスクの衛生を保持する。 【事業の概要】 1箱300枚入りの使い捨てマスクケース3箱を町内の飲食店等に配布する。 また、マスクケースには感染予防の啓発と北海道新幹線などをプリントする。 ○使い捨てマスクケース 1箱300枚入り×3箱×350店舗	委託料：12.5円×315,000枚＝3,937,500円 送料：810円×350件＝283,500円	3,938 284

感染予防の取り組み

	事業名	予算額	事業の目的と概要	予算内訳	訳
1	公共施設新型コロナウイルス感染症対策(検温機器等の設置)	4,413	【事業の目的】 冬のインフルエンザ流行季と乾燥季を迎えるにあたり、不特定多数が来所する公共施設での感染予防強化を図り、町民の安全や感染予防の徹底を図る。 【事業の概要】 ①公共施設に自動検温機器を設置する 設置場所:庁舎、公民館、体育館、保健福祉会館 ②公共施設に体温計付手指消毒機を設置する 設置場所:庁舎(3)、公民館(2)、美術館、風土館、分庁舎、除雪センター、保育所(2)、子育て支援センター、雪ん子館、南児童館、北児童館、絵本館、サンスポ、火葬場、労館、中小企業センター ③公共施設に自動手指消毒機を設置する 設置場所:庁舎(3)、公民館、体育館、保健福祉会館、保育所、労館、中小 ④公共施設に加湿器を設置する 設置場所:公民館(3)、絵本館、保育所(4)、子育て支援センター	備品購入費: (検温機器)726,000円×4台=2,904,000円 (専用スタンド)28,160円×4台=112,640円 (体温計付消毒機)40,150円×20台=803,000円 (自動消毒機)26,000円×11台=286,000円 (加湿器・小)25,300円×6台=151,800円 (加湿器・中)44,220円×1台=44,220円 (加湿器・大)55,330円×2台=110,660円	4,413

感染予防の取り組み

飛沫防止の取り組み

	事業名	予算額	事業の目的と概要	予算内訳
2	公共施設新型コロナウイルス感染症対策（パーテーションの設置）	3,871	【事業の目的】 新型コロナウイルス感染症が拡大した当初は飛沫防止を目的としたパーテーションの販売も少なかったことから、庁舎内では、職員手作りのパーテーションを設置した。コロナ感染の終息が予測できないなか、Withコロナ、コロナ禍の生活が当たり前になり、既製品も豊富に販売されるようになったことから、仮設でないパーテーションで飛沫感染防止を図る。 【事業の概要】 庁舎、保健福祉会館、分庁舎、議場に飛沫感染防止のパーテーションを設置する。 事務室用：115台 窓口用（ローカウンター）：32台 窓口用（ハイカウンター）：14台 議場用：47台	備品購入費： 事務室用 1,834,250円（115台） 窓口ローカウンター用 529,100円（32台） 窓口ハイカウンター用 430,540円（14台） 議場用 1,076,900円（47台） 3,871
3	スクールバス増便事業	6,930	【事業の目的】 冬季間に乗者数が増えるスクールバス2系統を増便させ、過密状態の解消を行う。 【事業の概要】 2系統、高砂、樺山方面のスクールバスを増便する。	委託料：6,930,000円×1式 6,930

地域医療を守る取り組み

	事業名	予算額	事業の目的と概要	予算内訳
1	町内医療機関への検温機器等設置事業	7,642	【事業の目的】 インフルエンザが流行する冬季に向けて、国の医療機関への補助対象外である検温機器を設置し、院内感染のリスクを軽減させ、安全な地域医療を提供させる。 【事業の概要】 三師会への設置希望調査の回答に基づき、以下の医療機関に設置する。 サーマルカメラ：厚生病院 クイックサーモ：さとう内科、くとさん外科、ニセコ脳神経外科、 白樺会クリニック、NIC、いとう歯科、中川歯科、くにもと歯科、 柏谷歯科、カワバタ歯科、ほくよう歯科、ロイヤル歯科、 非接触温度計：厚生病院（4）	備品購入費： （サーマルカメラ）660,000円×1台＝660,000円 （クイックサーモ）495,000円×12台＝6,930,000円 （非接触温度計）12,980円×4台＝51,920円 7,642

住民生活を支援する取り組み

	事業名	予算額	事業の目的と概要	予算内訳	
1	くっちゃん子応援金（新生児拡大分）	2,529	【事業の目的】 第1次で実施した町独自の住民生活支援策である「くっちゃん子」応援金について、基準日である6月1日以降に生まれた新生児に対して支給対象を拡大し、生活支援の公平性を図る。 【事業の概要】 第1次で実施した「くっちゃん子応援金」について、6月1日以降に生まれた新生児に対して、新たに交付する。 対象者：令和2年6月2日から令和3年3月31日の間に生まれた者 交付金額：1人当たり20,000円	補助金：20,000円×125人分＝2,500,000円 封筒：440円×2セット＝880円 郵送料：178円（往復）×125通＝22,250円 振込手数料：35円×125人分＝4,375円	2,500 1 23 5
2	むし歯予防事業	1,134	【事業の目的】 コロナ禍で休止しているフッ素塗布などむし歯予防事業を推進するため、低濃度フッ素配合体スプレーと歯ブラシを配布する。 【事業の概要】 コロナ禍で休止しているフッ素塗布などむし歯予防事業を推進するため、低濃度フッ素配合体スプレーと歯ブラシを配布する。 配布対象：0歳から6歳児 約950人（希望者）	消耗品費： （低濃度フッ素スプレー）979円×950人分＝930,050円 （乳幼児用歯ブラシ）88円×950人分＝83,600円 郵送料：126円×950通＝119,700円	1,014 120

新しい生活様式の取り組み

	事業名	予算額	事業の目的と概要	予算内訳	
1	GIGAスクール構想関連事業（独自ネットワーク事業）	13,200	【事業の目的】 児童・生徒がタブレット端末を使用した授業を行うにあたり、普通教室以外の特別室（理科室や技術家庭科室など）やホールなどでの利用が想定されることから、無線APを増設する。 【事業の概要】 無線A P （46台接続型）：307,230円×12台（箇所）＝3,686,760円 無線A P （36台接続型）：218,900円×21台（箇所）＝4,596,900円 設定費等諸経費 4,916,000円	工事請負費： （46台接続型）：307,230円×12台（箇所）＝3,686,760円 （36台接続型）：218,900円×21台（箇所）＝4,596,900円 設定費等諸経費 4,916,000円×1式＝4,916,000円	13,200
2	コロナ休校を取り戻す学習機材整備事業	3,940	【事業の目的】 コロナ休校による学習の遅れを取り戻すため、ICT機材を効果的に活用できる学習機材の整備を行う。 【事業の概要】 以下の学習機材を整備する。 プロジェクター：160,000円×16台＝2,560,000円 HDMIエクステンダー：875,000円 PC復活用SSD：225,000円 Type-C HDMI変換アダプタ：280,000円	備品購入費： （プロジェクター）160,000円×16台＝2,560,000円 （エクステンダー送信機）7,500円×17台＝127,500円 （エクステンダー受信機）7,500円×57台＝427,500円 消耗品費： （エクステンダー用HDMIケーブル）3,000円×74本＝222,000円 （エクステンダー用LANケーブル）1,000円×74本＝74,000円 （ビデオカメラ変換ケーブル）2,000円×12本＝24,000円 （PC復活用SSD）5,000円×45台＝225,000円 （HDMIアダプタ）5,000円×56本＝280,000円	3,115 825

		114,354			
--	--	---------	--	--	--